

SAFE (Safer Anaesthesia From Education) 小児麻酔コース

SAFE (Safer Anaesthesia From Education) コースは、2011 年に世界麻酔科学会連合 (WFSA) と Association of Anaesthetists が共同開発した小児麻酔教育コースです。世界各地で開催実績があり、2021 年からは日本語版の普及が始まっています。

小児麻酔は専門施設だけのものではありません。扁桃摘出術に代表される耳鼻科手術や口蓋裂手術など、一般病院でも小児症例を担当する機会は少なくありません。こうした日常の症例を安全に管理するためには、小児の特性をふまえた知識の整理と、いざという時の対応の備えが欠かせません。

本コースは学術集会にあわせた半日版として開催します。冒頭の短い講義に続き、参加者の皆様には少人数のグループに分かれ、「耳鼻科手術の麻酔」「抜管」「気道異物」「口蓋裂術後出血」の4つのブースを順に回っていただきます。各ブース25分、インストラクターとともに症例ベースのディスカッションを行う双方向形式です。小児麻酔を専門としない方や経験の浅い方も、日頃の疑問を持ち寄って気軽にご参加ください。

コーディネーター 埼玉県立小児医療センター 麻酔科 藤本 由貴

コース責任者 兵庫県立こども病院 麻酔科 藤原 孝志